



# 七峡だより

令和7年12月1日  
荒川区立第七峡田小学校  
校長 関川 浩

## 「心をひとつに・・・」

副校長 杉山和美

寒さの厳しい日が続き、本格的な冬の訪れを感じます。

先月の28日・29日は、「奏でよう みんなで つなぐ 音楽会」というスローガンのもと音楽会でした。4年生から6年生の有志による伴奏で『校歌』や『世界を旅する音楽室』を全員で歌う姿や、学年で心をひとつに奏でる姿は、どれも心を打つものでした。改めて七峡小の子供たちの素晴らしさを実感しています。また多くの方のご参観いただき、あたたかい拍手等をいただきありがとうございました。子どもたちの自信につながりました。

ところで少し前の話になりますが、本校の卒業生の方からお電話がありました。内容としては、「もうすぐ還暦を迎えるにあたり、同級生の間で七峡小の話をしています。『いちょうの木』という歌がありました。今でもだいたい歌えるのですが、一部思い出せません。この曲の歌詞が分かりましたら、教えてほしいです。」というものでした。七峡小を懐かしく大切に思ってくださいのお気持ちが嬉しくなり、音楽室の資料や卒業アルバム等、その当時の記録を探しました。すると『いちょうの木』の歌詞がありました。当時の卒業式のよびかけ台本の中に「新しい門出に 思い出をこめて 私たちのうた『いちょうの木』を歌います。卒業生、在校生起立」と記載されていたのです。

“若芽ふきだす いちょうの木 そびえる煙突 続く屋根 … ”

当時の様子が伝わってくる歌詞でした。残念ながら音源が見つからないのですが、「卒業して時間がたっても思い出す。」とおっしゃっていたお気持ちがよくわかります。

今、音楽会の振り返りをしています。この先、音楽会をふと思い出し、懐かしく思うこともあるかもしれません。みんなで心をひとつにしたこの経験を生かして成長していけるよう、教職員一同、力を合わせてまいります。引き続きの本校の教育活動にご協力のほど、よろしくお願いいたします。

## 12月の主な行事

- 12月 2日（火） マラソントイム（～10日） TOKYO GLOBAL GATEWAY（6年生）
- 3日（水） 区学力向上のための調査（1年生） I-check（全学年）
- 4日（木）・11日（木）・18日（木） 書道連盟の先生方による書き初め教室
- 8日（月） 避難訓練
- 9日（火） 社会科見学（4年生）
- 12日（金） 持久走記録会（尾久の原公園）
- 19日（金） 区合唱鑑賞教室（5年生）
- 24日（水） 給食終 大掃除
- 25日（木） 2学期終業式
- 26日（金）～1月7日（水） 冬季休業日 （1月8日（木） 3学期始業式・給食始）



## マラソントタイム・持久走記録会について

担当 小倉 夕希子

12月12日(金)に持久走記録会を尾久の原公園で行います。本番に向けて、マラソントタイムや体育の授業で練習を始めました。児童一人ひとりが達成感を得られるように教職員一同取り組んで参ります。寒い日が続きますが、ご家庭でも体調を整えて臨めるようにしてください。

## 下田移動教室について

6年担任

下田移動教室の思い出や、学んだことを学習ソフト「メタモジ」を使って、児童がまとめました。

私の下田の思い出は3つです。

1つ目は海中水族館です。イルカのショーではいろいろな芸がみれて楽しかったです。大きなジャンプはとても迫力があり、鳥肌が立ちました。

2つ目は博物館です。たくさんの展示物の中でも、心に残ったのは動物や虫の剥製です。思ったよりも大きかったりと、たくさんの驚きがありました。

3つ目は友達との会話です。学校でもできることですが、なんだかんだ一番面白かったです。会話をする事で、一人では気付かないことにも気づき、より学びが深まりました。

下田で学んだことはたくさんありますが、特にきりがえです。楽しむときは楽しんで、話を聞くときはしっかりと聞いて…そういうところが、下田に行く前とといったあとでは桁違いだと思います。私だけではなくクラスのレベルも上がった気がします。

小学校生活最後の移動教室は、とても価値のあり、思い出に残る出来事になりました。



## ①学んだこと

### 1, 干物作り

私は干物をいつも食べる側だったので、干物体験をして捌くのも難しかったし、見栄えも良くしないといけないので教えてくれた人はすごいなと思いました。

帰ったあと食べたけど美味しかったです



### 2, 了仙寺(ペリー)

了仙寺ではペリーのことがよくしれたり、珈琲などの外国語を日本語にしたやつなどを教えてくれてとっても楽しかったしペリーが歩いたところなどはちゃんと石像があったりして深く知ることができて嬉しかったです



### 3, 下田海中水族館

水族館の裏側なんて見たことがなかったのですごい面白かったし、病気の子、怪我をしている子は別のとこに移したりしていて職員の方々は水族館の子たちをすごい大切にしているんだなと思いました。



## 12月の生活指導目標【気持ちよい言葉づかいをしよう】

生活指導主任 近藤実乃里

人と人のつながりを円滑にするために、言葉づかいは大切な役割を果たします。相手に心を込めて丁寧な言葉であいさつをしたり、話したりすることは、お互いの関係をよりよいものにするために大切です。学校では、自分の発した言葉で相手やその周りの人がどのような気持ちになるかを考えて話すように日々指導しています。相手のことを思いやり、心が温くなる言葉を選んで使うことができるようになってほしいと思います。ご家庭でも、言葉づかいについて話し合ってみてください。